

<報告事項>

- I. 「2023 年度事業計画」(案) について
- II. つなぐプロジェクトを軸とした共生社会実現に向けた取組みについて
- III. 当金庫出資金における増口希望の公募について

全道推進会議

<報告事項>

I. 2022 年度推進活動総括

2022 年度は、引き続きコロナ禍をふまえた対応として、北海道ろうきんと連携のうえ、「新型コロナウイルス関連特別融資」や「WEB 完結型ローン」の周知活動等、組合員の生活に資する活動を展開しました。また、連合北海道・2020 生活アンケートの結果をふまえた、「組合員と家族に直接届ける教宣活動」や「つなぐプロジェクト for SDGs の強化」を通じて、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを進めました。

さらに、北海道ろうきん創立 70 周年記念事業として開始した「奨学金借換ローンの金利引下げ」や「奨学金借換+αローン」等の取組みを継続し、「ろうきん運動」を間断なく進めました。

<新型コロナウイルス感染症の諸情勢をふまえた取組み>

1. 「新型コロナウイルス関連特別融資」の周知活動

新型コロナウイルス感染症による社会的・経済的影響を勘案し、北海道ろうきんが勤労者セーフティネット機能を発揮すべく取扱いを開始した「新型コロナウイルス関連特別融資」について、積極的な周知活動を展開しました。

新型コロナウイルス関連特別融資【2022 年度】		
【融資件数】	10 件	【融資金額】 290 万円

2. WEB 完結型ローンの推進

コロナ禍における組合員ニーズに合致した取組みとして、WEB 完結型ローンの各種商品に関する積極的な周知活動を展開しました。

商品名	融資件数	融資金額
WEB 完結型轟ローン	344 件	6 億 4,963 万円
WEB 完結型教育ローン	51 件	6,452 万円
WEB 完結型フリーローン	23 件	1,470 万円
WEB 完結型マイプラン	205 件	1 億 3,960 万円

3. 「ろうきん News」の活用

ろうきんと連携し、2022 年度は合計 11 回のニュースを全道の 462 会員（メール：405 会員、FAX：57 会員）へ発信し、情報をタイムリーに届ける活動を展開しました。

<重点取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の取組み

- (1) 2022年度全道推進会議総会(4/22)にて、「対象項目の追加」「年度当初での寄付先の明確化」を確認したうえで、第2回全道推進会議(10/18)にて、上期の総括を共有し、引き続き、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載等により、組合員へ広く知らせる活動を展開することを確認しました。
- (2) 各種取組みの結果、2023年3月末時点での同プロジェクト対象項目の預金・融資・各種サービス新規取引実績は46,319件、「北海道ろうきんATM利用件数」は1,484,916件となりました。また、今年度より追加となった対象項目については、非対面項目が23,224件、ろうきん運動項目が1,034件、NPOとの連携項目が36件となりました。利用実績やろうきん運動項目等に応じた福祉団体への寄付見込額は9,173千円(前年同期比+3,275千円)となりました。

【預金・融資・各種サービス実績】

No	項目	年間目標	3月末実績	達成率
①	メイン化(給振・年金・公振・クレジット)	18,900	20,619	109.1%
②	預金(財形・エース・お子さま口座)	6,018	6,749	112.1%
③	融資(団体融資・手形貸付等除く)	14,992	16,403	109.4%
④	預かり資産(個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規)	1,772	2,548	143.7%
	合計	41,682	46,319	111.1%

【北海道ろうきんATM利用件数】

項目	件数
北海道ろうきんATM利用件数	1,484,916件

※ 北海道ろうきんATMにて入金・出金(ローンカード含む)1回につき1円を寄付。

【非対面項目実績】

項目	年間目標	3月末実績	達成率
非対面(ろうきんアプリ・エコ通帳・団体IB)	21,030	23,224	110.4%

【ろうきん運動項目実績】

No	項目	回数・会員数
①	学習会開催回数	638回
②	議案書・機関紙への掲載会員数	396会員
	合計	1,034

【NPOとの連携項目実績】

No	項目	件数
①	融資相談件数	16件
②	NPO法人普通預金口座開設数	20件
	合計	36件

【会員自主目標推進運動実績】

項目	会員数
会員自主目標設定会員数	627会員

(3) 本支店・出張所推進委員会表彰

表彰推進委員会は、34 推進委員会のうち、以下の 24 推進委員会となりました。

順位	推進委員会名	表彰金	表彰理由
1 位	①赤平出張所	5 万円	達成率 1 位
2 位以下	②名寄支店、③倶知安支店、④札幌平岡支店、⑤帯広支店、⑥札幌東支店、⑦稚内支店、⑧中標津支店、⑨釧路支店、⑩紋別出張所、⑪苫小牧支店、⑫北見支店、⑬札幌西連合支店、⑭八雲支店、⑮千歳支店、⑯旭川支店、⑰網走支店、⑱函館支店、⑲室蘭連合支店、⑳江別支店、㉑札幌麻生支店、㉒留萌支店、㉓札幌北支店、㉔小樽支店	1 万円	達成率 100%超 ※達成率順

※表彰金は、当該推進委員会に地域活動費として支出します。(6 月頃予定)

※2023 年度についても同様に達成率 1 位の推進委員会に対し、5 万円を贈呈し、労金総会にて表彰します。また、達成率 100%超の推進委員会に対し、1 万円を贈呈します。

(4) 地元の NPO 団体等への寄付

① 「つなぐプロジェクト」対象項目の利用実績に応じた各地域への福祉団体への寄付額は 9,173 千円となりました。

② ご利用実績に応じた各推進委員会の寄付額は、287,000 円となりました。

※[計算式] $9,173,216 \div 32$ (各店・出張所推進委員会) = 286,663 円 \approx 287,000 円 (百円以下切り上げ)

③ よって、本部寄付分 (287,000 円/別枠支出) も含め、つなぐプロジェクト「2022 年度寄付事業 (2023 年 7 月寄付)」の寄付総額は、9,471 千円となりました。

	2022 年度の利用実績に応じた寄付額
金庫全体	9,471,000 円
各店・出張所推進委員会	287,000 円

2. 連合北海道・2020 生活アンケートをふまえた「メインバンク No.1」への取組み

(1) 「家庭に届ける」ろうきん周知活動の展開

① コロナ禍の長期化により、依然として組合員へのろうきん周知活動が充分に行えない状況であることから、会員自主福祉運動の原点である「組合員・家族に届ける運動」を展開するために、下期以降も「家庭に届け！ いいこと R (アール) キャンペーン 2022」「北海道ろうきんフォトフォーラム ～写真の広場～ 2022」(実施期間：2023 年 3 月 31 日まで)の周知活動を継続しました。

② 3 月末現在で、「家庭に届け！ いいこと R (アール) キャンペーン 2022」は、989 名、「北海道ろうきんフォトフォーラム ～写真の広場～ 2022」は、199 名の応募となっており、家庭内での周知が図られました。

【月次応募者推移 (家庭に届け！ いいこと R (アール) キャンペーン 2022)】

1 月	2 月	3 月
40 件	14 件	17 件

【月次応募者推移（北海道ろうきんフォトフォーラム ～写真の広場～ 2022）】

1月	2月	3月
23件	13件	24件

③ 「連合北海道」「北海道労働者福祉協議会」が「勤労者福祉の向上」を目的に展開する「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、関係団体との合同による労働福祉事業団体の利用拡大に向けた要請活動を、都合 21 産別・2 ブロック労福協（渡島・網走）に対し実施しました。

(2) 組合員様専用サイトの活用

- ① 組合員へ広くろうきん周知を図るために、「ろうきん News」「機関紙用データ」「WEB アンケート BOX」が掲載された組合員様専用サイトの周知活動を展開しました。
- ② 組合員様専用サイトの活用に向けては、産別や各単組での周知を図るとともに「WEB アンケート BOX の活用」や「組合役員に役立つ情報の掲載」により、2022 年度の当該ページへのアクセス数は 7,185 件となりました。

<共通取組項目>

1. 可処分所得向上運動の取組み

可処分所得向上額 10 億円を目標に、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、銀行カードローン問題への対応や他行高金利ローン借換によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開した結果、実績は 593 百万円（前年同期比+18 百万円）となりました。

2. 職域活動費の効果的な活用

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は 324 回、延べ 7,811 名の出席となり、コロナ禍ではあるものの、会員組合員との接点強化が図られました（内、WEB を活用した学習会は 5 回となりました）。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「資産形成に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は 13,297,585 円となりました。

3. 推進機構活性化運動の展開

(1) 運動の基盤強化

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」【資料 4 参照】に取組みました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は 285 会員、「組合機関紙への商品・サービスの掲載」は 111 会員、「職場推進委員会の設置数」は 487 会員となりました。

(2) 青年・女性委員会との連携

連合女性委員会と連携し、6 月 4 日に開催された「2022 男女雇用機会均等法集会」にて、ろうきんの成り立ちや可処分所得向上運動について共有しました。

4. 生活応援運動の展開

(1) 生活設計運動の取組み

① ろうきんアプリ・エコ通帳推進運動

残高・入出金明細照会、かんたん通帳（Money Forward）、住所変更、ろうきんホームページへのリンクなど、いつでもどこでも確認できる「ろうきんアプリ」推進運動と、通帳記帳・繰越の必要がない「エコ通帳」推進運動を展開しました。

ろうきんアプリ契約件数（2023年3月末時点）
【契約件数】16,066件【累計契約件数(2019年10月22日～2023年3月末)】63,478件
エコ通帳〔通帳不発行型の普通預金口座〕（2023年3月末時点）
【新規件数】7,011件（前年同期比+2,324件）

② 退職金結集運動

「産別からの退職者情報提供（8産別）」「全開発・JP労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催（7会員・102名）」など、会員・推進機構による主体的な運動を展開しました。

退職金結集金額（2023年3月末時点）
【運動目標】90億51百万円【運動成果】159億3百万円（目標対比+68億52百万円）

③ 季節キャンペーン結集運動

ろうきん運動の原点である預金結集運動について、取組みを実施しました。

2022 サマーキャンペーン実績（6月1日～7月29日）
【定期・エース預金新規預入】16,250件・56億10百万円（2021年度比△2,457件・△16億61百万円）
2022 ウィンターキャンペーン実績（11月1日～12月30日）
【定期・エース預金新規預入】16,178件・34億18百万円（2021年度比△2,216件・△12億58百万円）

※ 昨年度対比で件数・新規預入金額共に減少していますが、投資信託等金融商品への移行、コロナ禍を受けた消費者行動や意識の変化、及び物価高による家計費負担増等を理由としたものと考えます。

④ 資産形成運動

ア. 「2022 “人生100年時代” 未来設計スタートキャンペーン」の展開

組合員の資産形成運動として、当該キャンペーンの周知活動を展開しました。

※ キャンペーン対象商品：「年金財形」または「iDeCo」または「投資信託定時定額買付（つみたてNISA含む）」の新規契約（適用条件有）

2022 “人生100年時代” 未来設計スタートキャンペーン(4月1日～12月30日)
新規件数（2022年12月末時点）
財形新規件数：2,856件／iDeCo 新規件数：576件／ 投資信託定時定額買付（つみたてNISA含む）：825件

イ. 「投資信託・国債」の推進

学習会等を通して、組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取組みを展開しました。

投資信託・国債新規件数（2023年3月末時点）
投資信託新規件数：861件／国債新規件数：925件

(2) 生活改善運動の取組み ～重点運動項目の推進～

① 住宅ローン推進運動

「住きっと！500」等の周知活動により、有担保ローン新規目標額を上回る成果となりました。

有担保ローン新規目標額 (2023年3月末時点)
【目標】690億円 【実績】813億円 (目標対比+123億円)

② 可処分所得向上運動

組合員の可処分所得向上に繋げる運動を展開しました。

可処分所得向上額 (2023年3月末時点)
【実績】5億93百万円
可処分所得向上運動に関する学習会開催実績 (2023年3月末時点)
【実績】241件/5,076名

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

「全力応援 pack」の周知活動を行いました。

全力応援 pack (非正規勤労者向け融資商品) 新規件数 (2023年3月末時点)
【実績】650件 (前年同期比+47件)

④ 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

社会問題化している奨学金問題に対し、勤労者のセーフティネットとして、更なる役割発揮を図る観点から、積極的な周知活動を展開しました。

なお、自治労北海道は、若年層組合員支援事業として北海道労働金庫と連携の上、「奨学金借換ローン」の保証を組合保証とし、奨学金の返済に苦慮する仲間の支援に加え、組織強化と次代の担い手育成につなげることを目的に2022年12月に取扱いを開始し、2023年3月末時点で、27件、5,522万円の取組実績となりました。

【奨学金借換ローン】

奨学金借換ローン新規実績 (2023年3月末時点)
【実績】47件/106百万円 (前年同期比+7件/+8百万円)
奨学金借換ローン累計実績 (2023年3月末時点)
【実績】471件/11億33百万円 (集計期間: 2017年10月1日~2023年3月31日)

【奨学金借換+αローン】

奨学金借換+αローン新規実績 (2023年3月末時点)
【実績】6件/17百万円

(3) 生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動 (学習会・研修会の開催)

多重債務に関する学習会を開催するなかで、組合員の生活防衛に資する取組みを展開しました。

生活防衛運動に関する学習会開催回数 (2023年3月末時点)
【開催回数】142件 【参加組合員数】3,340人

② 多重債務救済運動 (相談機能の発揮)

「お客様相談室」「各店・出張所多重債務相談員」と連携し、高金利ローン借換や

多重債務に陥った組合員の相談対応を行いました。

多重債務相談（2023年3月末時点）

【高金利ローン借換・多重債務相談件数】1,237件

5. 各種取組みの周知活動

「会員事務負担の軽減支援」を目的とした「団体インターネットバンキング」「賃金控除事務支援サービス」「QR伝票作成システム」「ろうきんUC法人カード」の推進を展開しました。

【2022年12月1日～2023年3月31日】

No	項目	件数
①	団体IB契約数	90件
②	賃金控除事務支援サービス契約数	148件
③	QR伝票印刷システム利用会員数（NPO団体除く）	99会員
④	ろうきんUC法人カード契約団体数	1団体
	合計	338先

6. ブロック別研修会の開催見送り

- (1) 本研修会は、ろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員を対象に、「ろうきん運動をすすめる意義」の理解を深める貴重な機会と位置づけ、意見交換や学習の場として開催しています。
- (2) しかしながら、札幌から10名以上の事務局が各ブロックを訪問すること、また各地域からの参加者の宿泊を前提とした会議招集や懇親会の開催は、感染リスクを回避できないことから、2022年度のブロック別研修会の開催は見送りました。
- (3) ブロック別研修会の中止に伴い、「家庭に届け！いいことR（アール）キャンペーン2022」、及びWEBにて全道の組合員とその家族が広く参加できる「北海道ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2022」に参画しました。

7. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

- (1) 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」と「北海道ろうきん」が連携し、「年金口座移管運動」を展開した結果、ろうきんでの年金受取口座は26,677件（前年同期比+203件）となりました。

Ⅱ. 2022年度決算報告

Ⅲ. 2022年度会計監査報告

<協議事項>

I. 2023 年度推進活動方針（案）

北海道ろうきんは、「長期ビジョン（～2024 年度）」の集大成となる「中期経営計画（2022～2024 年度）」において、理念に掲げられている「共生社会の実現」と「健全経営の維持」をコアバリュー（＝核とする価値観）に設定しました。

私達は、ろうきんが掲げるコアバリューの実現が、組合員の生活向上に繋がることに確信を持ち、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めていきたいと思えます。

具体的には、「つなぐプロジェクト for SDG s」推進運動を基軸とし、コロナ禍の中で取組みの幅が広がった WEB 環境を活用しつつ、コロナ禍以前の対面を基本とした運動を前提とした組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを進めます。

<重点取組項目>

1. 【つなぐプロジェクト for SDG s】における「自主目標設定運動」の取組み

- （1）『共通取組み』である【つなぐプロジェクト for SDG s】の達成にむけ「**会員自主目標推進運動**」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みます。
- （2）会員自主目標の設定にあたっては、つなぐプロジェクト「**会員分件数目標**」⇔「**会員自主目標**」を目指した取組みとなるよう、ろうきん各営業店と連携します。

2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み

- （1）『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の**可処分所得向上に資する取組み**を『重点取組項目』に設定し、組合員の生活改善に取り組むこととします。
- （2）取組みにあたっては、他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換を推進し、組合員の「**可処分所得向上額 10 億円以上**」を目指します。
- （3）大学生の約 5 割が利用している奨学金について、社会人になってからの返済負担が将来不安に繋がっている状況の改善に向け、組合員の負担軽減に取り組めます。また、4 月 24 日より、「**教育ローン（奨学金借換専用）**」申込者を対象とする「**ろうきん団信**」「**がん団信**」の付保取扱いについて、周知活動を展開し、万一の際の組合員およびその家族の生活保障に備えます。
- （4）協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、以下のろうきん商品・サービスを重点運動項目とします。

全道推進会議・重点運動項目
① 「マイプラン」や「メンバーズローン」等を活用した高金利商品からのろうきん商品への借換の取組み
② 「奨学金借換ローン」および「奨学金借換+αローン」の周知活動の展開
③ 「全力応援 pack」の周知による非正規雇用組合員の取引拡大の取組み

＜共通取組み＞

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開

- (1) ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大を目指します。
- (2) 今年度も年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めます。
- (3) 「つなぐプロジェクト for SDGs」の取組みにあたっては、「**会員自主目標推進運動**」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携を強化します。
- (4) 幅広い層への本取組みの浸透のため、社会全体でキャッシュレス決済の利用回数が増加傾向にあることを踏まえ、今年度より【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】を新たに対象項目へ追加し、更なる利用者拡大に取組みます。
- (5) 大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動を展開します。
- (6) コロナ禍により十分に教宣が行えなかった若年層組合員に対しては、ろうきんが設定する「Young pack キャンペーン」などを活用し、産別・単組および地域における「組織拡大」と連動した取組みを展開します。
- (7) 2023 年度に実施される「連合北海道・2023 生活アンケート」に参画します。

2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

- (1) 「生活設計」運動は、引き続き、ろうきん商品の周知活動を展開するとともに、以下の取組みをそれぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携のうえ、取組みを展開します。
 - ① 「2023 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みます。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知する取組みを展開します。
 - ② 退職者層の生涯取引に向けて、「退職金結集運動」を展開します。活動にあたっては、組合役員帯同オルグの実施や、職域活動費を活用した学習会・セミナーに取組みます。
 - ③ ろうきん運動の原点である「季節キャンペーン」を展開し、夏季・冬季一時金の結集とあわせて、「お子さま口座」を中心に家族取引の拡大を目指します。
 - ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大を目指します。

全道推進会議・重点運動項目
ア. 「財形預金」、「エース預金」などの積立型定期預金の推進 イ. 退職者向け「高金利定期預金商品（年金定期・リラックス等）」の推進 ウ. 組合員や退職者のニーズを捉えた「投資信託」・「国債」などの推奨 エ. 「iDeCo」や「つみたてNISA」など税優遇のある積立型投資商品の推奨 オ. 非対面サービスである「エコ通帳」「ろうきんアプリ」「ろうきんダイレクト」などの推進

- (2) 「生活改善」運動の取組みについては、「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんと連携強化を図ります。また、引き続き、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取組みます。
- (3) 「生活防衛」運動の取組みについては、それぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携のうえ、以下の取組みを展開します。
- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開します。特に若年層にとっては、「資産形成」を進めると同時に、「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開します。
 - ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取組みます。
 - ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応します。

お客様相談室（相談員 1 名）	
<フリーダイヤル>	0120-380-931
<住 所>	札幌市中央区北 1 条西 5 丁目 3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内

3. 職域活動費の効果的な活用

新型コロナウイルス感染症の分類が見直しされた後も引き続き、WEB 会議での職域活動費活用が可能となっているため、会議（対面・WEB）への組合員の参加に取組みます。

(1) 2023 年度職域活動費
① 年度予算 3,000 万円
② 組合員 1 人当たり活用上限 2,000 円
(2) WEB 会議での活用例
① 会員が主催する WEB 会議において、各接続拠点（労組・支部単位等）の「会場・設備」に係る費用の助成。
② WEB 会議開催の際に、接続拠点ごとに提供する「弁当代・懇親会」に係る費用の助成。

4. 推進機構活性化運動の展開

- (1) 地域や職場でのろうきん運動の浸透に向け、必要に応じて WEB 環境を活用するなど、本支店・出張所推進委員会への出席率向上に取組みます。
- (2) ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」を活用し、地域・職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図ります。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成や、「WEB アンケート BOX」を活用した取組みを展開します。

5. 新型コロナウイルス感染症の分類見直し後における運動の展開

- (1) 新型コロナウイルス感染症の分類が「2類相当」から「5類」に見直されることをふまえて、全道推進会議主催の「ブロック別研修会」を再開することとします。なお、分類の見直し時期が、2023年5月8日とされていることから、改めて第1回全道推進会議にて開催内容等を提案することとします。
- (2) 「ブロック別研修会」を再開することから、コロナ禍をふまえた取組みとして2年間展開してきた「家庭に届け！ いいことR（アール）キャンペーン」、「北海道ろうきんフォトフォーラム～写真の広場」は、当初予定通り2023年3月31日に終了しました。なお、「北海道ろうきんフォトフォーラム～写真の広場」の応募作品は、ろうきんホームページの特設ギャラリーにて、2023年4月30日まで公開されます。
- (3) 加えて、全道推進会議役員四役は、可能な限り各店・出張所推進委員会の「2023年度総会」に参加します。

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の観点から、「ろうきん友の会」への加入を積極的に働きかけるとともに、つなぐプロジェクトと連動する「年金受取口座移管運動」に取り組めます。

7. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「賃金控除事務支援サービス」、「QR伝票作成システム」、「ろうきんUC法人カード」を推進し、会員、ろうきん双方の事務負担の軽減を図るとともに、ろうきん職員と組合員の更なる接点拡大に向けて取り組みます。

II. 2023年度予算（案）

III. 全道推進会議総会の開催時期変更について

2024年度より、北海道労働者福祉協議会、各事業団体、北海道労働金庫の総会の開催時期・各事業計画と平仄を合わせるため、以下の通り全道推進会議総会の開催時期を6月に変更します。なお、第1回全道推進会議にて改めて提案の上、確認を求めることとします。

開催日	会議名（変更前）	会議名（変更後）
2023年4月	2023年度全道推進会議総会	2023年度全道推進会議総会
2023年6月	第1・2回全道推進会議	第1・2回全道推進会議
2023年10月	第3回全道推進会議	第3回全道推進会議
2024年1月	第4回全道推進会議	第4回全道推進会議
2024年4月	2024年度全道推進会議総会	第5回全道推進会議
2024年6月	第1・2回全道推進会議	2024年度全道推進会議総会 第1回全道推進会議

IV. 旅費規程の一部改正（案）

V. 「会員労組を経由する組合員との取引」に関する留意事項

VI. 役員の変更

< 退任役員 >

役職	氏 名	所 属
事務局次長	青坂 裕一	道労福協事業推進本部事務局次長
幹事	前田 英司	連合十勝地協

< 新任役員 >

役職	新役員氏名	所 属
事務局次長	高尾 淳	道労福協事業推進本部事務局次長
幹事	佐竹 良将	連合十勝地協

VII. 今後の日程

開催日時（予定）	会議名	開催場所
2023年6月26日（月）15時	第1回全道推進会議	ホテルポールスター札幌

以上